

第 132 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：平成 28 年 5 月 27 日（金） 13：30～15：10

場 所：中央図書館 2 階多目的第 1 ホール

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 山本部長 佐々木課長 森脇課長 岡田室長 山根課長 島田館長
長見所長 大崎分室長 森下分室長 吉野分室長

書記：小林係長 皆田主任主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 社会教育委員の選任について（資料 1）
- (2) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 2）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) 教育委員会学校訪問について（資料 9）
- (2) 島根県市町村教育委員会連合会平成 28 年度理事の選出について
- (3) 平成 28 年度西部地区①教育懇話会について
- (4) その他

5 議題（追加）

- (1) 全国学力学習状況調査について

1 教育長報告

石本教育長

最近熊が町中に出没しており、三階小学校の側でも目撃され、2 日前には雲雀丘小学校の校門のところに出たということで先生から通報された。同じ熊だろうということだが、三階小学校、それから雲雀丘小学校、その間のゆうひパークの間を行ったり来たりしている。今日も杉戸から清水野原線という大学に行く近道があるが、そこの辺りでも見つかったということである。なかなか山に帰らずに、うろうろしている状況である。学校の方にはすぐに教育委員会から連絡をし、三階小学校、雲雀丘小学校については集団下校、来る時も先生が途中まで迎えに行かれて一緒に登校といった状況である。保護者の方にも協力していただき、登校に付き添ってくださいとお願いをしているところである。中学校については 1 人ではなく複数で帰るようにお願いと、保護者にも対

森脇課長

応をお願いしていて、今日まではそういった対応としている。

雲雀丘小学校は月曜の朝も行うということだが、また今日の状況を見てということになる。

石本教育長

何日も出るということであれば、今畏もたくさん仕掛けられているので、捕まると思うが、秋田県では2人亡くなられており、今日もまた同じ付近でケガがあったということである。昔、熊は襲うが大ケガをして亡くなるということは少なかったが、亡くなるということもあり心配している。しばらく状況を見るしかないかと思っている。

① 4月25日（月）島根県市町村教育長会議（松江市）

県の教育長が今年の県教育重点施策、こういったところに重きを置いていきたいといった話をされたので、ポイントを伝える。重点事項は3点あった。1点目が学力向上対策である。算数の授業改善推進校を県下で8校決めて、算数の学力向上に取り組むプロジェクトが今年度からスタートする。浜田市では周布小学校が推進校となり、算数を好きになるということを目指し進めるということで今年から3年間取組を進めるということになっている。そういった学力向上対策に力を入れたいといったことを話された。

2点目はふるさと教育、キャリア教育である。ふるさと教育は県が十数年前から力を入れている事業の1つだが、まだまだ推進していかなければならないといった強い意志を示された。

3点目は特別支援教育の充実ということを言われた。県内の場合は養護学校という言い方をするが、県立の特別支援学校がある。そこがいわゆる地域のセンター機能を持っているといった話をされ、小中学校には特別支援学級があるが、学級に入れない子ども、支援の必要な子どもの支援を養護学校の方で指導、助言、支援そういったことができるのでぜひ頼って相談してほしいといったような話があった。市町村にとってはありがたいお話で、ぜひそういった学校の指導を受けながら市の特別支援教育も充実させていく必要があると感じた。

付け加えて言われたのが教職員の健康管理について十分配慮してほしいとのことだった。子どもたちと向き合う時間をとるために事務の共同実施についても、もっともっと進めていく必要があると話があった。なおかつ、労働安全衛生法に基づいて各職場で一定規模の職場には衛生委員会を設ける法律が決

まっているが、そういったものを活用して健康管理医の健康相談といったものを、時間外勤務が多い先生には制度化をして受けさせていただきたいという話だった。それ以外にも色々と教育に力を入れることの話もされた。中体連の事務局長が公金を横領したというような事件もあったが、そのへんのところを各学校が持っている色々な会計があるが、適正に処理をされているかということをもう一度各市町村でチェックをしてほしいといった話もあった。

② 4月27日（水）浜田市文化財審議会・浜田市資料館運営委員会（浜田公民館）

旧浜田の郷土資料館のこと、各自治区にも色々な資料館があるが、そういった資料館を今後どう運営していくかといったこと、資料館等のあり方について少し意見をいただくように諮問をしたが、実際このことについては2、3年前からずっと話をしていただいていた。方向性がある程度出かけているが、そのへんのところを正式に文章にまとめて教育委員会の方にいただく。正式に諮問して7月、8月くらいのところでは答申が出てくると思っている。公共施設の再配置ということが今議論されているが、その中で資料館のあり方、それから今、市が検討している歴史神楽資料館、そういったものとの整合性も諮りながらあり方についても方針決定していきたいと思う。

③ 4月29日（祝）第91回石見陸上競技大会（陸上競技場）

91回という非常に長い歴史を持つ大会で、実は浜田市の陸上競技協会ができて70年目だが、協会ができる前からこの石見陸上は地域で行われている。その90年の歩みをまとめた本が今回できた。1,000円で陸協が作り、まだあと400部あるということなので、ぜひPRしてほしいとのこと。機会があれば、陸上関係者に言えば持っているそうなので、ぜひ購入していただければと思う。図書館には登録して置いてある。

④ 5月6日（金）青少年サポートセンター移転開所（旧浜田警察署）

青少年サポートセンターが京町から旧警察署の1階奥に移転した。色々と小部屋があり、結構使い勝手の良い施設になっていると感じているが、既に移転をして業務を開始しているので、お手すきの時にまた足を運んでいただけたらと思う。

⑤ 5月12日（木）浜田養護学校新校舎竣工式（同校体育館）

浜田養護学校の新しい校舎ができ、竣工式があり出席した。行って驚いたのが、高等部の生徒が非常に多いと感じた。実は30年くらい前に浜田ろう学校に勤務していたことがあり、その頃も当然高等部はあったが、養護学校の小学部・中学部を出た者が高等部に上がるといった感じで人数的には少なかったが、今は市内の中学校の特別支援学級を出た子どもたちが養護学校へ進学して就職のためのキャリアを十分指導していただいて社会へ出ていくといった流れが多々あり、そういったことで人数が多い状況である。発達障がいの人もたくさんおられ、そういった関係で増えているといったような話もあった。人数が多くなったことで新しい校舎を建てないと教室が足りないということである。高等部については実習ができるところが非常に充実していて、喫茶店もできていてウエイトレスやウエイターとかの勉強もしていて、生徒が作って出してくれたコーヒーをいただいた。やはり行ってみないと分からないと感じたので、機会があればそういった県立の学校にも顔を出してみたいと思う。

⑥ 5月13日（金）浜田市 PTA 連合会委員総会（総合福祉センター）

新しい役員が決まったが、6月26日（日）に毎年行われる研修大会を県大の講堂で実施するという話があった。また日程調整をしたいと思う。

⑦ 5月17日（火）浜田教育事務所長学校訪問・1日目

5月17日からは教育事務所長の学校訪問が始まり、昨日26日に2回目の学校訪問があった。あと3日で終わる予定としている。教育事務所長の学校訪問が終わった後から教育委員会の学校訪問が始まるといったスケジュールになっている。

⑧ 5月19日（木）、20日（金）第68回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（徳島市）

5月19日と20日の2日間徳島市で行われた第68回全国都市教育長協議会定期総会と研究大会に出席させていただいた。文科省から来て話をされたが、今年は特段目新しいことはなかったように思う。昨年までやっていることを今年も引き続きやるということだったが、「チーム学校」といったことを何回も言われた。学校の教員が専門性を高めて子どもたちの教育に携わるのは当たり前だが、それだけでは色々と大変な部分もあるので、外部のスクールカウンセラーであったり SSW であったり、なお

かつ部活動についても外部講師等、そういったことを取り組むことをどんどんこれからは進めていく方向になると話をされた。そのためには裏付けとなる財源が必要となってくるが、そういった財源も国が一度には無理だろうが拡大をしていくといった話があった。

それから、福井市に浜田市から先生方を派遣して勉強させていただいているが、その福井市の教育長が全国の会長になられた。内田教育長という方で、私も何度か話をさせていただいたがすごく温厚な方で、高校の先生だったが、10年近く福井市の教育長をされており今回会長になられた。知った方が会長になられたので、この大会が身近なものになったと個人的に期待している。詳しい内容はプリントにしてお配りさせていただきたいと思う。今日のところはご了承いただきたいと思う。

⑨ 5月19日（木）浜田市小体連陸上競技大会（陸上競技場）

浜田市小体連陸上競技大会があり、委員方には大変お世話になった。暑い中で行われたということで、大会記録も出た。特に今回は国府小の児童が頑張ったということが記録を後で見分かったが、それぞれ4月から練習に取り組み、頑張られたのだと思う。毎年教育長の全国大会と重なって、教育長になってから1回も観たことがないので、いずれ観に行かなければと思っている。

⑩ 5月24日（火）浜田市体育協会総会（市役所講堂）

市の体協の総会があった。市の体協もできてから10周年を今年度迎えるということで、10周年記念事業をやることが決まった。特に、講演会を計画しており、8月28日（日）に星野仙一さんが来られて石中央文化ホールで講演をされるということが決まった。梨田監督が楽天の監督になって、球団の副会長という立場に星野さんがおられるので、梨田監督を通じてお願いをして実現となった。ぜひ多くの方に集まっていただければと思う。チラシ等もできるのでPRをお願いできればと思う。記念事業としてはそれ以外にもゲートボール大会やグランドゴルフ大会、ウォーキング大会なども実施をされるとその会議の中で検討したところである。合わせて体育協会としても8月のインターハイを応援しようということも決まり、練習会場が金城のふれあいジムの体育館、サブ会場が浜高の体育館、本会場が県体ということだが、色々機器の搬入等があり、体育協会から延べ75人

のボランティアの方に応援をいただいて高校生のインターハイをバックアップするというような体制を体育協会の総会の中で決められた。大会に携わるのは高校の関係者はもちろんだが、体操協会の方々、市民のボランティアということで、体育協会の皆さん方が参加をされるということでありありがたい話だと思っている。

4月22日以降の状況について話をさせていただいた。今の報告のところで質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

冒頭で熊の話があったが、旭では鈴を持たせているが市内は持たせていないのか。

森脇課長

雲雀丘小学校、三階小学校は持っていない子がおり、山間部の方へ帰る子には多少持たせていたが、全員が持っていないので25日に全員分の鈴を届けた。今は全員持っているはずである。

藤本委員

今は雲雀丘小学校と三階小学校が持っているということであるか。

森脇課長

そうである。今日帰る時にはまだ行き届いていなかったという苦情も聞いたので、全員に持たせるように改めて指示をしたところである。

藤本委員

効果のほどは私もわからないが、効果があるのではないかとということで旭の方では取り付けているので、少なくともできるところはやっていかなければいけないと思っている。

石本教育長

すぐ手配をしてくれてやっている。

金本委員

これは貸出しか。

森脇課長

一応そうである。卒業したら返してもらい、今度は新1年生に渡すということで使い回しをさせていただいている。

石本教育長

私も夜歩くときは鈴をつけて歩いている。森林組合の鈴を購入した。

森脇課長

学校の方に配っているのは350円の鈴で、ちゃんと付けないとカチカチいって鳴らない。ランドセルにつければちょうどよくてちゃんと鳴る。

藤本委員

かなり響くが。

金本委員

普段はやかましい。

石本教育長

山間部の学校の子どもには全員配っているが、町場の子どもにはなかったから今回配ったということか。

森脇課長	そうである。今日も三階小学校が全員に着けて帰らせると苦情を言う方がいらっしゃるのではないかと、そういうことを気にして着けていなかったようで、班長だけとかそういった対応をしていた。せつかく全員分配だったので、必ず全員持たせるように改めてお願いをしたところである。
石本教育長	やかましいことはあるかもしれないが、安全第一であるので協力していただきたい。
藤本委員	2回も3回も出ているので危ないので。
石本教育長	今日出たところは原井校区になるか。清水町の近くは。
岡田室長	原井校区である。
石本教育長	原井の子はたぶん鈴は誰も持ってないのでは。
森脇課長	また改めて確認しておく。
石本教育長	確認してみしてほしい。

2 議題

(1) 社会教育委員の選任について (資料1)

山根課長	社会教育委員についてはほとんど選任していただいているところだが、先般PTA連合会の総会があり、そちらの方でPTA会長が選出されたのでその方について承認をいただくものである。資料裏面、上から2番目の木村一裕さんで岡見小学校のPTA出身である。この方についての承認をお願いしたい。 なお、もう1人欠員が出て今選任中のため、決まったら速やかに諮らせていただく。
石本教育長	PTA連合会の会長が木村さんということで新たに決まったので、報告であるが何か質問等はあるか。岡見小学校の保護者だが会長ではない。最近単Pの会長と市Pの会長はそれぞれ別々に決めている。
石本教育長	この件はよろしいか。
各委員	全会一致で承認

(2) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について (資料2)

島田館長	浜田市立図書館協議会委員の委嘱について26年度、27年度の2年度で前の方の任期が満了となるので、図書館協議会の条例に基づいて新たな今年度、来年度の2年度分の任期の委員を、資料
------	---

にある 10 名に委嘱をさせていただきたい。再任を妨げないという条文があり、新しく選任させていただいたのが、学校教育関係者の玉木校長。この方は今年度の学校図書館部会の会長である。他に社会教育関係者の野上さん、PTA 連合会の副会長である。それと園長会の三浦園長、この 3 名が新しい委員の方々である。定員が 10 名で平成 28 年 4 月から 2 年間、29 年度いっぱい任期となる。変更点が 1 点、幼児保育に関わる団体が少ないのではないかといった意見があったので、浜田市園長会の枠を新たに増やし、図書館ボランティア、図書館だけではないが読み聞かせ等をしていただいているボランティアの枠を「しまね子どもの読書等推進の会浜田支部」の方を 1 名にさせていただき、ボランティア枠を 2 から 1 に減少して、幼稚園の枠をそこに 1 つ移動したということで変更している。承認をお願いしたい。

石本教育長

図書館協議会の委嘱替えということである。3 名の方が新しい委員ということで残りの 7 名は再任になる。変更点としては「しまね子どもの読書等推進の会浜田支部」というのがあるが、これが図書館ボランティアをやる団体なので図書館ボランティアの枠をなくして「浜田市園長会」に変えるといった提案である。このことについて意見等あるか。

委員方

質問事項等なし

石本教育長
各委員

特に意見等はないようなので、提案のとおり委嘱する。
全会一致で承認

3 部長・課長等報告事項

佐々木課長

行事予定表（資料 3）

今日から来月いっぱいの行事予定を掲載している。29 日、旭小学校で土俵開きの相撲大会がある。直接委員方にはご案内が届いているかと思うが、6 月 26 日には市 PTA 連合会の研修大会が県立大学で行われる。6 月 29 日には第 1 回目の教育委員会としての学校訪問が弥栄小外ということで行われる。7 月に入っても何回かお願いをすると思うので、よろしくお願いしたい。

森脇課長

平成 28 年度 園児・児童・生徒数一覧表（資料 4）

5 月 1 日現在の平成 28 年度 園児・児童・生徒数となる。表の小学校の方だが、平成 28 年度の合計人数が 2,621 人、平成 27 年度が 2,690 人なので、69 名の減となっている。裏面は中

学校の生徒数であり、平成 28 年度が 1,393 人、平成 27 年度が 1,386 人で 7 人の増となっている。下が幼稚園となっており、平成 28 年度の合計が 122 人、平成 27 年度が 144 人で 22 人の減となっている。

市内中学校の進学等の状況について（資料 5）

市内中学校の進学等の状況である。上の段を横に見ていただくと一中、二中、三中と各中学校。左のところを縦に見ていただくと、上から浜田高校、浜田高校の定時制、浜田商業と各高校を記載している。上に例示をしているが上段の白いところが平成 27 年、平成 26 年、平成 25 年、3 年の数字を並べて書いている。そして下段のところに平成 17 年、平成 16 年、平成 15 年と 10 年前の状況を並べて書いている。裏面の真ん中のところに虹色の棒グラフがあるが、棒グラフの中の右端が平成 27 年の卒業生で左端が 10 年前、平成 17 年の卒業生となっている。平成 27 年は 459 人に対して、平成 17 年は 651 人で 192 人の減少となっている。同じように一昨年、平成 26 年とその 10 年前の状況を比べているが、ここでは 231 人の減が見られる。平成 25 年と平成 15 年で比べると 204 人の減となっている。その下の表だが、平成 15 年と平成 25 年、平成 16 年と平成 26 年、平成 17 年と平成 27 年というふうにそれぞれ 10 年前と対比させている。平成 27 年のところだが、浜田市内の高校に行った子どもは 284 人ということで 62%の子どもたちが浜田市内の高校へ行っているということである。その左側、平成 25 年と 15 年を比べると、平成 25 年は 268 人の子どもが浜田市内の高校へ行っているということ、57%ということになる。10 年前と比べると 12.4%、平成 25 年と平成 15 年はそういう減があった。平成 27 年と 17 年を比べると 7.1%減っているといた状況である。上のところに浜田市内の各高校入学者の人数と割合を記載している。一番左上、浜田高校のところで平成 17 年と平成 27 年の人数を書いている。平成 17 年は 232 人であるのに対して、平成 27 年は 172 人ということで 60 人の減というふうになっている。棒グラフの下のところでは、割合でみている。平成 17 年は 35.6%だったものが平成 27 年には 37.5%ということで 1.8%の増になっている。浜田商業高校では、平成 17 年が 137 人であったが、平成 27 年は 76 人ということで 61 人の減となっている。割合でみると、平成 17 年は 21.0%だったものが平

成 27 年は 16.6%ということで 4.5%減となっている。浜田水産高校では平成 17 年は 46 人であったものが、平成 27 年は 25 人ということで 21 人減となっている。割合で見ると、平成 17 年は 7.1%だったものが平成 27 年は 5.4%ということで 1.6%の減となっている。棒グラフの下の表のところでは江津市のところを見ていただくと、平成 17 年が 71 人であったものが平成 27 年は 60 人ということで割合としては 13%だが 2.2%の増となっている。益田市でみると、平成 17 年が 58 人、平成 27 年は 63 人ということで 4.8%の増といった状況になっている。表の左側に江津市の高校の様子を記載しているが、この中で江津工業高校は人数の割合で見ると平成 17 年が 40 人、平成 27 年が 35 人ということで 5 人の減となっている。割合で見ると、平成 27 年が 7.6%で 1.5%の増となっている。石見智翠館高校で見ると平成 17 年が 18 人、平成 27 年が 17 人で 1 人の減。平成 16 年で見ると 23 人、平成 26 年は 32 人で 9 人増となっている。増えたり減ったりといった様子が見受けられるところである。右側には益田市の各高校の様子を記載している。その中で上から三番目に明誠高校の様子があるが、明誠高校の人数の変化を見ると、平成 17 年が 14 人であったものが、平成 27 年は 40 人と 26.0%の増となっている。明誠高校だけがバラつきはありながらも増えている。AO 入試の実施であるとか福祉科があるといったような事が人気の秘密ではないかと見ているところである。

石本教育長

細かい数字を説明いただいたが、部長の方から補足はあるか。

山本部長

人数は 200 人減っているが、各校頑張っており、まず浜田高校の割合が伸びている。あとは明誠高校が伸びている。智翠館も%では増えているが減ってきている。もうちょっと頑張っているのが浜田水産高校である。浜田商業高校は割合のところでは $\Delta 9.4$ だったのが、 $\Delta 4.5\%$ になっている。浜田高校、浜田商業高校は頑張ってきている。私立の明誠や智翠館も頑張っている。表でみると中学校は特徴があるように思い、例えば三隅中は益田へ進学する割合が多く、浜田商業へ行く生徒が 10 年前と比べて減っている。矢上高校もあるが、ここに行っているのは金城中、旭中といったところである。三中也益田に行かれるところが多く、学校によってそういった傾向があるように思

う。

Hamada マリン郷育プロジェクトについて（資料 6）

Hamada マリン郷育プロジェクトについて説明する。この事業は日本財団の助成事業ということで急遽、趣旨①②とあるが、海での自然体験活動や親子活動を通じて海の大切さや海で遊ぶ楽しさを認識させ、親子の家庭教育支援の充実を図るという目的と今年度から「自然体験活動推進事業」ということで学校教育の中で新しい事業を取り組むが、その事業の充実を図るといった 2 点にわたり、急遽この日本財団助成事業を申請して採択されたものである。

主催団体としては実行委員会形式で、掲載している団体で形成している。協力団体としては海の関係のライフセービングクラブや B&G、B&G の海洋クラブ、三隅スポーツクラブ等に協力してもらおう。事業費については総事業費が 973 万円ということで、日本財団からはこの中の 773 万円ほど決定があったところである。その他の 200 万円については 6 月議会に上程させてもらおうと思っている。

この事業の内容だが、メインイベントとしては 7 月 18 日の海の日①の水辺の安全教室、それから②のライフジャケット浮遊体験&海泳教室、③のカヌーや SUP といってボードの上に立って漕ぐもの等の体験教室を行う予定としている。サブイベントとしては海の日の前後を通じて学校の先生方にカヌー・SUP 体験教室を開催する。それから個々の学校授業において体験授業を取り組んでいただきたいと考えている。公民館、子ども会等によっても体験教室をやっていただきたいと考えている。マリン郷育プログラムの構築と下に書いているが、この事業によってマリンプログラムというものを実際に作り、来年度以降の事業に活用していただきたいと考えている。地元メディアも活用して情報発信していきたいと考えている。なお、この全体事業の主な支出内容については備品購入ということでカヤックとか SUP、カヌーを購入する計画としている。ライフジャケット等も購入する。石見ケーブルビジョンと企画会社のシマネプロモーションの方で Web を作っていただき、情報発信の整備をするとしている。ケーブルテレビでもその都度事業の情報を流してもらおうといった計画にしている。残りの事業費についてはメインイベント、サブイベントを実施するための経費と

なっている。

平成 28 年度 中国地区スポーツ推進委員研修会の開催について（資料 7）

平成 28 年度中国地区スポーツ推進委員研修会が開催される。6 月 25 日、26 日で中国管内のスポーツ推進委員、スポーツ推進委員については下のところに説明書きを載せているが、浜田市では 36 名の方がスポーツ推進委員でおられる。このスポーツ推進委員が中国管内全てのところから集まり、研修会をされる。会場については全体会場が石央文化ホール、情報交換会場はジョイプラザで行う。実技研修は県立体育館、石見武道館、一中等の体育館で行われる。

内容は、6 月 25 日（土）は全体会ということで中国地区の表彰式、基調講演、実践発表、情報交換となっている。翌日の日曜については実技研修で全員参加のスロージョギングの実技とインドアカップ、スローエアロビック、ラダーゲッター、スポーツ吹矢の 4 種目から選んでいただき参加して研修していただく予定となっている。全体で申し込みが今のところ約 800 人の方がいらっしゃる予定である。よって宿泊も 500 人くらいというようなことで計画をしている。

第 2 次浜田市子ども読書活動推進計画について（中間報告）
（資料 8）

先月から話をさせていただいている第 2 次浜田市子ども読書活動推進計画について、中間報告である。原案でアンケート結果を後ろにつけているが、すでに委員方にはお送りさせていただいている。概要と経過について説明させていただく。概要について計画期間としては平成 28 年度から平成 33 年度までの 6 年間。計画の対象は第 1 次の計画では中学生までとされていたが、県の方針や国の法律等では概ね 18 歳以下の子どもが対象となっているので、第 2 次の計画からは 18 歳以下の子どもを対象とさせていただく。基本目標は「読書に親しみ、みずから学び、夢を持つ豊かな心を育む」という目標でいきたいと思っている。基本方針としては 4 つの基本方針で計画を推進していくとしている。家庭における子ども読書活動の推進、地域、学校等、学校等の中には幼稚園や保育園、養護学校、高等学校を含んでいる、こういったところでの推進。最後が図書館における推進と考えている。原案については次のページ以降にまとめ

島田館長

ている。経過について、同時にお送りしたアンケートの結果がもう出ているが、まず1月にアンケート調査を実施させていただいた。各部署が集まって調整会議を2月と5月に開催している。3月14日の定例教育委員会には計画の骨子の報告をさせていただき、4月22日に検討委員会を設置し、委員の委嘱をさせていただいた。先週20日に第1回の検討委員会の開催をさせていただいた。25日の社会教育委員の会でも中間報告と意見聴取をさせていただいた。

今後の予定として6月14日に最初の浜田市立図書館協議会の会議を開催する予定である。そこでは中間報告と意見聴取をさせていただく予定である。その意見を受けて7月に第2回の検討委員会、8月にパブリックコメントを実施する。その意見を受けて第3回検討委員会を9月に開催し、そこで最終案を決定して10月の定例教育委員会で報告をさせていただいて、12月の定例議会の方へ報告をさせていただく。その後実施をしていく予定としている。すでに推進計画原案については事前にお送りさせていただいているので、ここでは特に説明はしないがもし何かご意見があれば伺いたい。

大崎分室長

平成27年度「金城 げんきっ子運動推進委員会」活動のまとめ（冊子資料）

青い冊子があるが、金城げんきっ子運動推進委員会というものを任意で作り、活動している。平成27年度の活動状況を報告させていただく。毎年この時期に前年度に取り組んだものを教育委員の皆様にご報告させていただいている。金城げんきっ子運動推進委員会とは、もともと合併前から子どもたちの家庭環境や家庭での生活で食事や健康面から、生活習慣病というものを予防していこうということから市の健康推進と教育の方、学校が一緒になって取り組もうということで始めたものである。資料1ページのところにもととの設置要綱、2ページに委員会の組織図を載せている。9、10ページには、ここ何年かは家庭での学習環境という面では健康面だけでなくいわゆるテレビとか携帯やゲームといったものもかなり問題点であるということでノーメディアウィークといったものも近年は取り入れてやってきている。

資料の3ページだが、平成27年度の事業の中で特に予防事業の中にあるノーメディアウィーク、家庭における学習環境な

り親御さんと一緒に話したりする時間を持つということによって、中学校の期末テスト期間中に合わせて家ではテレビを消してみんなで話して学習をしようということによって年に3回行っている。それから健康、生活習慣病では食事を一緒にしようとか、手伝いをしようといったことをするための動機づけをするためのクッキング教室を8月に行った。それから年間のこういった取組を「げんきっ子」という便りを作って学校と各家庭に配っている。こういった取組をしている。そういった内容を4ページ以降に載せているので、また参考に見ていただけたらと思う。特に24ページにノーマディアウィークをした時の感想等を載せており、金城自治区では各家庭の方で子どもも含めて段々と定着してきたのではないかとといった評価をさせていただいている。

30ページには、「げんきっ子」の便りの方でも載せたが、ノーマディアウィークを6年間やってきて、継続して今後も進めていきたいということで28年度も同じように進めていく。毎年同じ活動のためマンネリ化といったこともあり、目新しさもないのでそのへんも考えたり、違った体制でやることも今年度検討していきたいと考えている。

昨年からは金城に県立大生のシェアハウスを設置した。地域としては浜田の県立大学生、通学等の関係でどうしても住むところは市街地になってしまうが、何とかして中山間地域である若者が少ない地域に住んでもらうことができないかということで地元が運営するシェアハウスを支援している。この4月から県立大学生の女性5名がシェアハウスで生活を始めている。だんだん通学等も含めて落ち着いてきている。その学生たちがいることで地域に活性化をということで考えている。その中の1つの大きな取組として、そこに住んでいる学生たちが自主的にできる地域貢献とか活動という意味で、中学生への学習支援をしていこうという取組を考えている。「かなぎ学習会」ということで今プランを立てて、大学の方にも協力をいただいて調整を進めているところである。具体的には決まっていないが、6月の中旬から実際に子どもたちに地域の集会所に集まってもらって自学習的なことをやり、そこへ県立大学生に来てもらい、一緒にいることで子どもたちの質問や気付いたことを指導するといったことで、子どもたちに学習する動機づけや、やっ

ている内容のレベルアップをしていこうと計画している。こういった活動をシェアハウスで始めてきたということを紹介させていただきたい。この活動は毎週土曜日に中学生を対象としてやるということを計画しており、もともと市教委として取り組んでいる土曜学習支援マナビィと同じメニューのひとつと言えるのではないかとということでそのへんとの連携も検討していきたいと考えている。

石本教育長
藤本委員

今の報告で意見や質問等はあるか。

金城の方から報告をいただいた平成 27 年度の活動をまとめた資料だが、いろんな取組をしております。シェアハウスに入っている学生に学習指導をしてもらうという話があったが、教育委員会が毎週「マナビィ浜田」というものを行っており、数回顔を出したことがあるが、非常に参加者が少ないといった現実がある。去年は今福会場であり、旭と金城の中学生が行っているだろうということで数回顔を出したが、参加者が少なかった。なかなかいい取組だと思えるので、いかにして子どもたちにその気になってもらうかが1番大事なところかと思う。

大崎分室長

そういった取組をやっているということがまだまだ浸透していないといったこともあるかと思う。今シェアハウスの関係で、この度やろうとすることを小中学校の協力もいただいて6月2日に学生たちがこういったことをやるということをPTAの方を集めて紹介する、逆にぜひ参加してください、といった紹介をされるので、そういった中でマナビィも紹介していけたらと思う。

藤本委員

例えばPTA総会などで生の声で呼び掛けるとまた違う効果があるかと思うが、学校を通してプリント配布というやり方はなかなか反応が鈍いようにつくづく感じた。

大崎分室長

6月2日には県の指導員の研修も含めて集まっていたので直接呼び掛けたいと思う。

藤本委員

多すぎてもいけないが、1人参加というのもいかなものかと去年感じた。

石本教育長
大崎分室長

土曜日の時間帯はいつ頃を予定しているのか。

決定ではないが、午前中9時から1時間単位で2コマを予定している。

石本教育長

マナビィと同じ形ということか。

大崎分室長	<p>そうである。結局は関連させるために同じ形をとる。3年生を主体とするが、1、2年生の参加も可能である。部活もあるので、部活の終わった3年生が中心になるのではないかと考えている。</p>
石本教育長	<p>会場を借上する関係で少しはお金をいただくと聞いているが。</p>
大崎分室長	<p>お金をいただくことにしている。</p>
宇津委員	<p>学生はまったくのボランティアということか。</p>
大崎分室長	<p>そうである。シェアハウスということで学生支援の面でそういった取組があるため貢献をしていただくという観点からボランティアとしている。必要経費やマナビィとの関係といった位置づけになると支払い等について出来るのかまだ詰められていない。</p>
金本委員	<p>学習ボランティアで県大生にしてもらおうということか。</p>
石本教育長	<p>シェアハウスなので、市が整備して安い家賃で入ってもらっているのですが、その代わりに地元商店街の活動やイベントには必ず参加してもらおうといった条件が付いている。中学生に学習指導することを条件にすることもいいかもしれない。また最終的に制度が決まったら報告してほしい。</p>
大崎分室長	<p>また報告させていただきたい。</p>
石本教育長	<p>資料8の「第2次浜田市子ども読書活動推進計画について」何かご意見があれば伺ってみたいと館長からあったが、何かあるか。普段から思っていることがあれば。</p>
藤本委員	<p>もうひとつ聞いてみたいことがある。資料6のHamada マリン郷育プロジェクトの内容だが、あくまでも海を主体とした催しであると思う。そうすると例えば海のない旭の子どもは参加する子が少ないのではないと思うが、この事業の実施主体は教育団体が主体ということか。</p>
山根課長	<p>実行委員会で主催するが、協力団体の方によって実際ライブセービングとか、B&Gは現在でも体験教室のプログラムを持っているので、そういうこともタイアップしてやることになると思う。</p>
藤本委員	<p>そこが主体となって学校に呼び掛けるということか。</p>
山根課長	<p>そうである。メインイベントの時は学校単位ではないが、サブイベントということで学校の授業の中で取り入れていただいているということで、海辺の学校だけではなく中山間地の学</p>

石本教育長

校でも移動手段が使えるのでぜひ企画していただきたいと思っている。

この事業は唐突にできたものではなく、日本財団が昨年度の途中に新たな事業としてこういった事業を立ち上げて、日本財団なのでぜひ海を使った教育を進めてほしいというような事で事業を作られた。たまたま市長が日本財団に行かれた時に浜田市でもこういった取組をされませんかと話があり、市長が8割くらいは補助金でできるからこれをやろうということになった。たまたま市教委でもふるさと郷育の中で28年度以降自然体験推進事業といったものをやることにしていたので、相乗りをして急遽事業計画を作ったところである。事業費のその他の200万円も、もしかしたら参加者から負担金をもらったり、それで足りない部分は市が補助金を出したりすることか。

山根課長

そうである。

藤本委員

呼び掛けなどは市内の各学校に呼び掛けるということか。

山根課長

そうである。

石本教育長

サブイベントのところは公民館単位でやってもらうこともあるので、公民館への働きかけも当然、実行委員会の事務局が教育委員会の中にあるので、事務局の方から公民館にPRしていこうと思っている。これは1年単位の最長3年か。

山根課長

最長3年かは分からないが1年単位である。来年も採択される可能性はあるそうだ。

石本教育長

3年は続ける感じかと思う。とりあえずやってみるということなので、今年の成果を見てまた来年度以降を決めていく。

メインイベントが7月18日とあるが、対象者が50人である。議会の方でも1,000万円も使うのにたった50人しか参加できないのかという意見があったが、海でのイベントなのであまり多数だと安全の確保ができないということで、メインイベントについては50人に限定するが、そうではない6月から11月にかけてやるサブイベントについてはいくらかでも対応できるので、1回は50人くらいがターゲットになるかとは思いますがやっていきたいと思う。

これまでのところでご意見はあるか。ないようだが、また何かあれば直接お問合せいただきたい。

4 その他

(1) 教育委員会学校訪問について (資料9)

小林係長

日程調整をして、この通りで訪問日程を組んでいるのでご確認いただきたい。この予定では7月5日(火)が午前中だけになっているが、委員方にはこの日の午後も対応可能ということだったので、今後変更が出てきた場合には7月5日の午後からを予備日として日程を確保していただけたらと思うのでよろしくお願ひしたい。ちなみにこの日は市長の講話が旭小学校であるということで、旭小学校への訪問は7月7日だが、この日は都合がつかないということがあり、旭小の訪問を5日に入れようかと思っていたところだが、市長講話があるということで、もし出席をされる予定の委員がいらっしゃったら学校訪問の日程も組み直しになってくるのだが、一応5日を予備日として確保していただけたらと思う。

6月29日をスタートとし、最終を7月14日(木)ということで、今年度は6月議会が2週間遅れた関係で6月の下旬はほとんど日程が取れなかったこともあり、学校は学期末の最中になってしまふところがあるが、この日程でさせていただきたいと思う。

裏面については変更点だけをお知らせしたいと思う。5番の訪問内容の中で意見交換のテーマを3つほど挙げている。自己採点の分析結果及び今後の取組について、メディア接触に関する現状と取組について、特色ある学校づくり事業(学校裁量予算)の取組について、この3点を意見交換のテーマとして学校に通知をしている。自己採点の分析結果及び今後の取組については今年度も意見交換テーマとして加えさせていただいた。訪問者が9名となっているが、学力向上推進室長1名を加えて10名で訪問させていただきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。また日が近づいたら車の移動方法等についてお知らせをしたいと思うが、基本的には車1台で移動していきたいと思っている。また個別の移動手段等をお考えの場合は改めてお知らせいただけたらと思う。

石本教育長

7月5日(火)を午前中の予定にしているが、午後も予備日として確保しておいてほしいということか。

小林係長

そうである。

石本教育長

事前の調査の時には委員方は5日の午後も空いているのか。

小林係長 そうである。その日の午後に教頭会があったので、一応予備日にしているが、この関係で都合のつかない学校と協議をして、教頭会に出ずにこちらに対応するという話があればこの予備日に当て込もうかと考えている。

石本教育長 旭小学校を5日の午後に持ってきて、委員方にも話を聞いていただいて、学校訪問に変えればいいのかと思ったが、教頭会があるから厳しいか。教育委員会としても旭小学校の教頭先生からしても。

小林係長 学校訪問となった場合教頭会出席は見合わせるということだった。市長講話の方で忙しいと思うので。そこに学校訪問を重ねると余計に慌ただしいかなと心配もあるが。

石本教育長 そういったことなので、5日の午後は一応空けておいていただけたらと思う。それから変更点についても先ほど説明があったが訪問者が9人から10人に。意見交換のテーマについては前回お話しさせてもらったが、この3点について各学校に通知をさせてもらっている。これに限らないが、こういったことが中心になるということをお願いしたいと思う。この日程でいくと給食は金城と三隅と浜田の3回食するという事か。

小林係長 そうである。

(2) 島根県市町村教育委員会連合会平成28年度理事の選出について

小林係長 資料はないが、昨日メールで連合会の事務局から連絡があったので、口頭になるがお知らせをさせていただきたい。藤本委員に昨年度まで理事として出ていただいていた連合会の役員理事の関係だが、今年度は役員編成の変更などを4月に行われた第1回連合会の時にお話をされた。構成を変えるといったお話があったので、教育委員の理事の選出については1回目のところではなかったが、その話がまとまり、出雲部は松江市と雲南市の2名、石見部は浜田市と大田市の2名、都市部については計4名の委員選出をお願いするということが正式に決まったということである。浜田市においても委員方から1名理事として選出となったので、選出をお願いしたいと思う。任期等はない。

石本教育長 市で4人の委員方から選ぶが、正副2人なので今年は大田市と浜田市で、来年は江津市と益田市になると聞いたが。

小林係長 この理事任期は毎年1年任期だったのではないかと思うが、任期についての言及はない。

石本教育長	いずれにしても今年度は大田市と浜田市から 1 人ずつ出してほしいということか。
小林係長	そうである。
石本教育長	今までは藤本委員にお願いをしていた。7月の時は総会になり、毎年の研修会があると思う。引き続きお願いしてもよろしいか。
藤本委員	よい。
石本教育長	それでは賛同いただいたので、そのように報告しておいてほしい。

(3) 平成 28 年度西部地区①教育懇話会について

石本教育長	昔は西部地区だったが、昨年から 3 市 3 町でやっているが違うか。
小林係長	正式名称は分からないが、西部地区の表記が①、②になっており、言われるように①の方がいわゆる 3 市 3 町、浜田・大田・江津、邑智郡で、②の方が益田・鹿足郡。これについても正式なご案内ではなくメールでの通知だったので、口頭で説明させていただく。3 市 3 町の懇話会ということで限定をされている。今年度からはずっとそういった形でやるということになり、開催地は江津で、予定日が 7 月 29 日（金）午後からとなっているので、日程を押さえていただけたらと思う。
石本教育長	<p>昨年は大田であり、終わった後に懇親会があつて意見交換会があった。</p> <p>江津市の会場は、駅前に新しい交流プラザのような施設ができて、8 月 1 日オープンだが、オープン前に会議で使わせてもらえるといった噂を聞いたので、恐らくそこで開催と思われる。7 月 29 日の午後予定していただけたらと思う。現段階でご都合の悪い方はいるか。</p>
各委員	都合の悪い方はなし。
小林係長	引き続き意見交換会、情報交換会があるので、行きと帰りは車を手配し、浜田市役所を出発とし、帰りも市役所着ということで送迎を含めた対応と考えている。また情報交換会の出欠も含めてご確認させていただけたらと思う。

(4) その他

小林係長	幼稚園の公開保育の関係で、公開保育のご案内を毎年委員方にもさせていただいている中で、今後ご案内するのを 3 年に 1 回の
------	---

<p>石本教育長 小林係長 石本教育長</p>	<p>大会の年だけにさせていただきたいという方向で話が進んでおり、毎年のご案内が今後はなくなるということである。今年は7月だが、例年は秋頃に行われている。</p> <p>市教研の幼稚園部会の公開保育のことか。</p>
<p>小林係長 石本教育長 小林係長 石本教育長</p>	<p>そうである。</p> <p>確かに色々な部会が教育研究会の中にはあるが、呼ばれるのは幼稚園だけだと思っていた。大会は毎年ではないのか。</p> <p>大きい大会は3年に1回のようなものである。</p> <p>今年度はないということか。</p> <p>そうである。見に行きたいという意見があれば改めて伝える。</p> <p>普段の公開保育なら幼稚園訪問でも行ける。</p>

5 議題（追加）

(1) 全国学力学習状況調査について

<p>小林係長</p>	<p>全国学力調査が終わり、今年度の学校別の公表やそもそもの公表の方針をどうするか。ご審議いただきたい。</p>
<p>石本教育長</p>	<p>4月に全国の学力調査が終わり、自己採点の結果に基づいて、学校訪問の時に学校から報告を受けるわけだが、いわゆる学校別の公表というのは、市長もあれ以来言われないのでしばらくは様子見だが、教育委員会の方針としては従来通り公表しないとするが良いか。</p>
<p>藤本委員 石本教育長</p>	<p>固有名詞を出すのはまずいのではないか。</p> <p>それでは従来通り公表しないということで。何か問い合わせ等があるかもしれないが公表しないということをお願いしたい。委員方から質問等があるか。</p>
<p>宇津委員</p>	<p>質疑応答</p> <p>今の話で、県下で公表することへ踏みきっている市町村がいくつかあると思うが、それが増加傾向にあるか、現状維持の状況か、県下の他の状況が今分かるか。</p>
<p>岡田室長 藤本委員</p>	<p>現時点で公表しているのは松江と出雲だけである。</p> <p>出雲は数値の出し方がちょっと違う。スパッと出たのは松江だけではないかと思う。</p>
<p>各委員</p>	<p>全会一致で承認</p>

次回定例会日程

定例会 6月30日(木) 15時00分から 浜田公民館第三研修室

15:10 終了